

— ご挨拶 —

この度、第4回Advanced Medical Imaging研究会(SAMI)の当番会長を務めさせていただくことになり、ご挨拶申し上げます。この研究会は、最先端の画像研究や画像機器・放射線関連薬品の進歩の情報を共有することにより、画像診断に関する知識を幅広く身に付け、関連各科との連携を向上させるとともに日本の画像医学研究全体のレベル向上を目的としています。

研究会の構成はこれまでと同様、“機器・ソフトの進歩”、“各領域の進歩”、“放射線関連医薬品の進歩”、“改訂されたガイドラインの紹介”、公募演題として“日本発の最新論文紹介”について発表していただきます。1演題の講演時間を短縮し、2日間で全ての領域の最新情報を網羅できるようにしています。ランチョンセミナーでは各企業からの最新情報や最もアピールしたい技術や商品の紹介をしていただく予定です。各企業の目指す方向性が把握でき、参考になると思います。

また、30分枠の講演では特別講演と会長講演ならびに人工知能セッションを2部構成で予定しています。特別講演は京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻の椎名 毅先生から超音波の最先端の技術やAI技術を含めた近未来への展望などについて技術面からのご講演をいただきます。会長講演では、臨床面から超音波の最新技術や他のモダリティでは得られない情報について紹介し、超音波の魅力を再認識していただきたいと考えています。

放射線医学は最も人工知能の発展の恩恵を受けることができる分野の一つと考えています。私の専門である超音波についても日本超音波医学会の事業として「人工知能の利活用を見据えた超音波デジタル画像のナショナルデータベース構築基盤整備に関する研究」が平成30年度より開始されました。各種モダリティを統合した人工知能の利活用に向けてデータ連携も進められています。人工知能セッションを通じて放射線医学がどのように対応していけばよいかを考える場になればよいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

2019年(令和元年) 7月吉日

第4回Advanced Medical Imaging 研究会 (SAMI 2019)

当番会長 平井 都始子

(奈良県立医科大学附属病院総合画像診断センター)

1. 総合受付

1) 日 時

2019年7月27日(土) 9:00～18:00

28日(日) 8:00～14:00

2) 場 所：ホテルエルセラーン大阪 3F ホワイエ

3) 参加登録受付方法

「事前参加登録」と「当日参加登録」で窓口が分かれております。

受付時に名札兼出席証明書・領収証およびプログラム・抄録集をお渡し致します。

・事前参加登録済みの方

メールにてお送りしております「事前参加登録完了のお知らせ」を印刷して該当窓口までご持参ください。

・当日参加の方

該当窓口にて当日参加費をお支払いください。

参加費

	事前参加登録費	当日参加登録費
医師・企業	8,000円	10,000円
メディカルスタッフ 後期研修医・大学院生	5,000円	6,000円
初期研修医	1,000円	2,000円

4) アナライザーシステムの利用セッションに関するご案内

各領域研究の進歩 1：7月27日(土) 11:05～12:00

各領域研究の進歩 2：7月27日(土) 13:40～14:35

各領域研究の進歩 3：7月28日(日) 8:30～10:10

上記セッションにて、アナライザーシステムを利用したアンケートを各発表前に実施いたします。ご自身のスマートフォン・タブレット等にて、事前に専用ウェブサイトへアクセスの上、ご参加ください。

[専用ウェブサイト]

<http://web.meetoo.io/116064342>

※ウェブサイトは当日のみご利用頂けます。



QRLコード

2. 座長・演者の先生へ

「座長・演者受付」にお越しください。

1) 座長

- ・セッション開始15分前までに、会場内右前方「次座長席」へお着きください。
- ・セッションの終了時間を厳守してください。

2) 演者

- ・発表の30分前までにPC受付(3F ホワイエ)にて発表データのチェックを行ってください。

混雑が予想されますので、PC受付が開いている時に随時、前もって行っていただきますようご協力をお願いいたします。

- ・PC受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮ください。
- ・PC本体お持込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席までご自身でお持ちください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で演台上に設置されているキーボード及びマウスにて操作していただきます。

【ご発表機材について】

<データをお持ち込みの方>

- ・PC(パソコン)での発表のみ可能です。プロジェクターは1台のみの使用となります。会場ではWindowsのPowerPointをご用意致します。データはWindows PowerPointのみとし、CD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください(CD-RW、DVD-RWは不可)。
- ・ご発表用アプリケーションについては以下のバージョンをご用意致します。
Windows PowerPoint:2010、2013、2016
※ Macintoshで発表データを作成される方は、ご自身のPCをお持ち込みください。
- ・フォントはOS標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお薦め致します。
推奨フォント/日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
推奨フォント/英語の場合 Century、Century Gothic
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つ為、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。
ファイル形式は、WindowsについてはWindows Media Playerで動作するファイル形式でご用意ください。(推奨:WMV)
※ AVIはCODECによって再生できない場合があります。
- ・動画ご使用の場合は、ご自身のPCをお持ちいただくことをお薦め致します。
- ・音声は使用できません。
- ・セッションの進行に影響が出るため、発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、会終了後にコンピューターより消去致します。

<PC本体を持参される方>

- ・PC持込の場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。
※HDMIやMini DisplayPortなどD-sub 15ピン以外の接続はお受けできません。



MiniD-sub 15ピン

- ・画面サイズ(解像度)はXGA(1024×768)となります。
- ・この環境で画面の全てが不具合無く表示される事を予めご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。
- ・スクリーンセーバ、省電力モード、パスワード設定(Macはホットコーナーも)を解除しておいてください。
- ・再起動することがありますのでパスワード入力は不要に設定をお願い致します。
- ・音声は使用できません。
- ・セッションの進行に影響が出るため、発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。

3. ポスター展示について

1) ポスター展示会場：

ホテルエルセラーン大阪
5F ホワイエ

2) 受付

第1日目の7月27日(土)11:00までにポスター展示会場にてポスター受付をお済ませください。

ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、受付時にお渡しするマジックテープを利用して掲示してください。

3) ポスターディスカッション

日時:7月27日(土)13:10～13:35

7月27日(土)16:10～16:35

7月28日(日)10:55～11:25

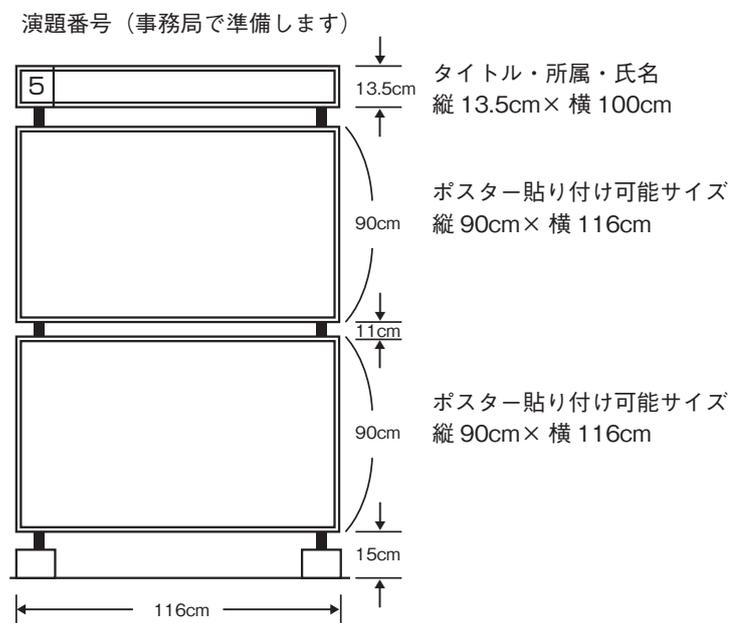
上記日時にて、ポスターディスカッションを行います。

ポスターディスカッションに関して座長の設定や口演発表は行いませんが、ご自身のポスターの前で待機して、質問等ありましたら対応してください。

4) 公募の一般演題(口演、ポスター)の中から優秀な演題に対して大会長賞が授与されます。

7月28日(日)14:30～の閉会の辞前に発表がありますのでご参加ください。

5) 全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後30分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承ください。



4. 幹事会

日 時:2019年7月27日(土) 8:45～9:20
場 所:ホテルエルセラーン大阪 15F スカイアトリウム

5. 世話人会

日 時:2019年7月27日(土) 9:20～9:50
場 所:ホテルエルセラーン大阪 15F スカイアトリウム

6. 事務局連絡

日 時:2019年7月27日(土) 15:10～15:20
場 所:ホテルエルセラーン大阪 5F エルセラーンホール

7. クローク

日 時:2019年7月27日(土) 9:00～19:00
2019年7月28日(日) 8:00～15:00
場 所:ホテルエルセラーン大阪 5F ホワイエ

8. 情報交換会

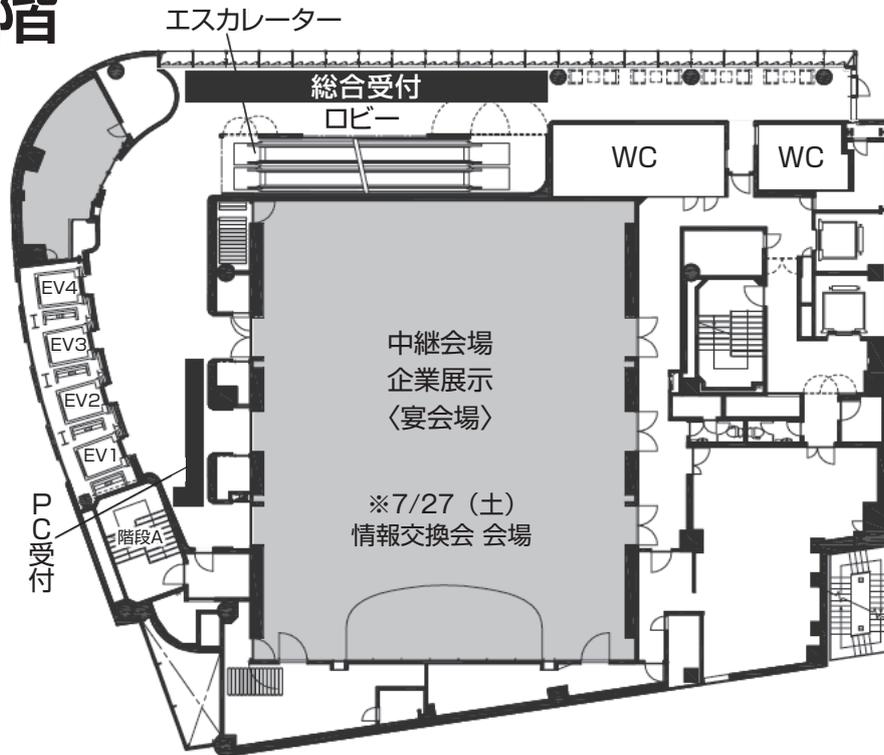
日 時:2019年7月27日(土) 18:50～
会 場:ホテルエルセラーン大阪 3F
会費は無料です。
皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

9. 次回研究会

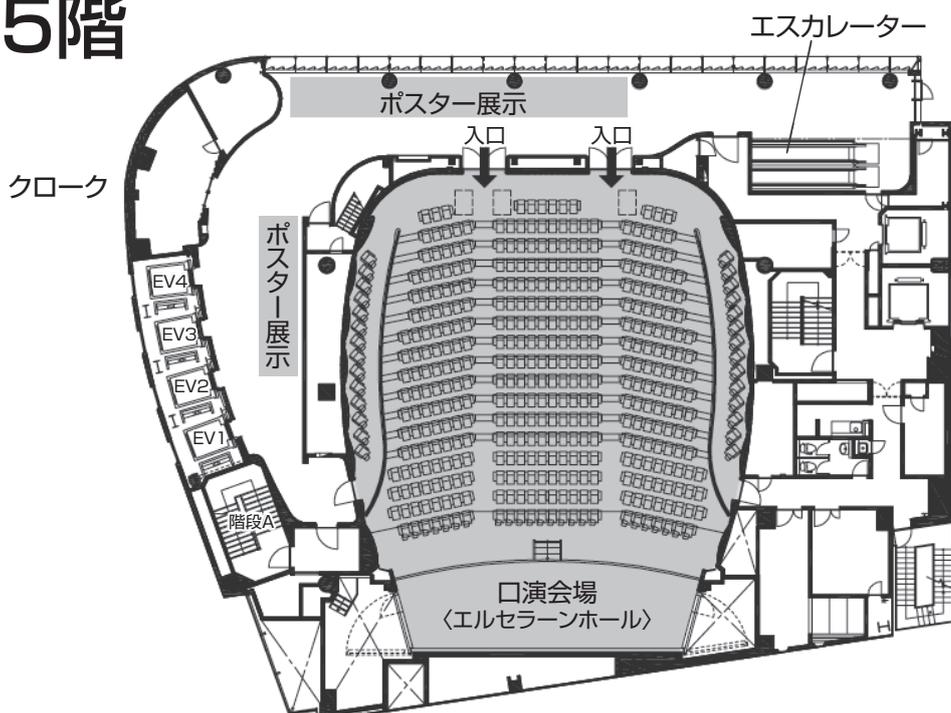
日 時:2020年11月21日(土)～22日(日)
会 場:ホテルエルセラーン大阪
当 番 会 長:高橋 哲 (愛仁会高槻病院 イメージングリサーチセンター)

ホテルエルセラーン大阪

3階



5階



— プログラム —

【1日目】 2019年7月27日(土)

10:00～10:05 開会挨拶

10:05～11:00 機器・ソフトの進歩1

US <座長> **内田 政史** (久留米大学医学部 放射線科)
<演者> **太田 智行** (国際医療福祉大学病院)

CT <座長> **辻岡 勝美** (藤田医科大学 医療科学部 放射線学科)
<演者> **檜垣 徹** (広島大学 放射線診断学)

MR <座長> **高原 太郎** (東海大学工学部 医用生体工学科)
<演者> **北島 美香** (熊本大学病院 中央放射線部)

核医学 <座長> **金田 朋洋** (筑波大学 応用分子イメージング学)
<演者> **辻川 哲也** (福井大学 高エネルギー医学研究センター)

11:00～11:05

休憩

11:05～12:00 各領域研究の進歩1

脳神経 <座長> **平井 俊範** (宮崎大学医学部 放射線医学教室)
<演者> **前田 正幸** (三重大学医学部 先進画像診断学講座)

頭頸部 <座長> **池田 耕士** (東京慈恵会医科大学 放射線医学講座)
<演者> **柏木 伸夫** (近畿大学医学部放射線医学講座)

胸部 <座長> **富山 憲幸** (大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学)
<演者> **本多 修** (大阪大学医学部 放射線医学講座)

乳腺 <座長> **菊池 真理** (がん研有明病院 画像診断部)
<演者> **後藤 真理子** (京都府立医科大学大学院医学研究科 放射線診断治療学)

12:00～12:10

弁当配布

12:10～13:00 ランチョンセミナー1「新製品紹介」

<座長> **栗井 和夫** (広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学)

LS1-1 Helium Freeが実現するMRIの技術革新 **竹元 寿照** (株式会社フィリップス・ジャパン MR Modality Specialist)
【共催】 株式会社フィリップス・ジャパン

LS1-2 AIR Technology™がもたらすMRの新たな検査体験 **池田 陽介** (GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR営業推進部)
【共催】 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

LS1-3 単純X線撮影で実現する胸部動態解析技術 **大原 弘** (コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケア事業本部)
【共催】 コニカミノルタジャパン株式会社

LS1-4 ケアストリームのAIへの取り組み **河野 亨** (ケアストリームヘルス株式会社 HCIS事業統括部長)
【共催】 ケアストリームヘルス株式会社

13:00～13:10

弁当回収

13:10～13:35 ポスター・企業展示閲覧

13:35～13:40

移動

13:40～14:35 各領域研究の進歩2

心臓 <座長> **城戸 輝仁** (愛媛大学大学院 医学系研究科 放射線医学)
<演者> **奥田 茂男** (慶應義塾大学医学部 放射線科学教室(診断))

脈管 <座長> **高瀬 圭** (東北大学大学院医学系研究科放射線診断学分野)
<演者> **宇都宮 大輔** (横浜市立大学医学研究科 放射線診断学)

小児 <座長> **宮崎 治** (国立成育医療研究センター 放射線診療部)
<演者> **野崎 太希** (聖路加国際病院 放射線科)

放射線治療 <座長> **白土 博樹** (北海道大学量子理工学グローバルステーション)
<演者> **井垣 浩** (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

14:35～14:40

休憩

14:40～15:10 特別講演

<座長> **平井 都始子** (奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター)
光超音波による先端医用イメージング技術 **椎名 毅** (京都大学大学院医学研究科医療画像情報システム学)

15:10～15:20

事務局連絡

15:20～16:05 造影剤・放射線医薬品セミナー

<座長> **高瀬 圭** (東北大学大学院医学系研究科放射線診断学分野)

F-01 分子標的治療薬の画像的效果判定における留意点 **祖父江 慶太郎** (神戸大学医学部附属病院 放射線・IVR科)
[共催] エーザイ株式会社

F-02 医療放射線情報管理システム「Radimetrics (ラジメトリクス)」について **鳥羽 輝久** (バイエル薬品株式会社ラジオロジー事業部)
[共催] バイエル薬品株式会社

F-03 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療効果予測-核医学検査によるアプローチ- **宇都宮 啓太** (関西医科大学総合医療センター放射線科)
[共催] 日本メジフィジックス株式会社

16:05～16:10

移動

16:10～16:35 ポスター・企業展示閲覧

16:35～16:40

移動

16:40～17:30 機器・ソフトの進歩2

IVR <座長> **山門 亨一郎** (兵庫医科大学 放射線医学教室)
<演者> **清末 一路** (大分大学医学部附属病院放射線部)

治療計画 <座長> **根本 建二** (山形大学医学部 放射線腫瘍学分野)
<演者> **神宮 啓一** (東北大学大学院医学系研究科 放射線腫瘍学分野)

PACS <座長> **松尾 義朋** (イーサイトヘルスケア株式会社)
<演者> **八上 全弘** (京都大学医学部附属病院 先制医療・生活習慣病研究センター)

CAD/AI <座長> **小林 泰之** (聖マリアンナ医科大学 大学院医学研究科 医療情報処理技術応用研究分野)
<演者> **木戸 尚治** (大阪大学大学院医学系研究科)

<座長> **中田 典生** (東京慈恵会医科大学 放射線医学講座)

**AMED:人工知能の利活用を見据えた超音波デジタル画像の
ナショナルデータベース構築基盤整備に関する研究について**

中田 典生 (東京慈恵会医科大学 放射線医学講座)

機械学習を用いた医用画像解析

森 健策 (名古屋大学大学院情報学研究所)

**第三次AIブームにおけるコンピュータ支援画像診断
(AI-CAD)の新潮流**

藤田 広志 (岐阜大学工学部)

【2日目】 2019年7月28日(日)

8:30～10:10 各領域研究の進歩3

肝臓	<座長> 吉満 研吾 (福岡大学医学部 放射線医学教室) <演者> 祖父江 慶太郎 (神戸大学医学部附属病院 放射線・IVR科)
胆膵	<座長> 蒲田 敏文 (金沢大学 放射線科学) <演者> 鈴木 耕次郎 (愛知医科大学 放射線科)
消化管	<座長> 白神 伸之 (東邦大学医療センター 大森病院 放射線科) <演者> 南 学 (筑波大学 放射線医学)
泌尿器	<座長> 金澤 右 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学) <演者> 平木 隆夫 (岡山大学医学部放射線医学教室)
婦人科	<座長> 山下 康行 (熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野) <演者> 藤井 進也 (鳥取大学医学部 画像診断治療学分野)
骨軟部	<座長> 新津 守 (埼玉医科大学 放射線科) <演者> 上谷 雅孝 (長崎大学大学院医歯薬学研究科 放射線診断治療学)
救急	<座長> 近藤 浩史 (帝京大学医学部 放射線科学講座) <演者> 濱本 耕平 (自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科)
全身疾患	<座長> 金田 朋洋 (筑波大学 応用分子イメージング学) <演者> 松木 充 (近畿大学医学部 放射線医学)

10:10～10:20

休憩

10:20～10:50 会長講演

超音波の進歩に放射線科医としてかかわること	<座長> 陣崎 雅弘 (慶應義塾大学医学部 放射線科学教室 (診断)) 平井 都始子 (奈良県立医科大学附属病院総合画像診断センター)
------------------------------	--

10:50～10:55

移動

10:55～11:25 ポスター・企業展示閲覧

11:25～11:30

移動

11:30～12:00 日本発の論文紹介1

1-1 FA値は本態性振戦に対する視床焼灼術後の治療効果の早期予測を可能にする -どこをどのように計測するか-	<座長> 村上 卓道 (神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線診断学分野) 堀 大樹 (新百合ヶ丘総合病院 放射線診断研究所)
1-2 骨髄不全症におけるFLT-PET/MRIの初期経験	辻川 哲也 (福井大学高エネルギー医学研究センター)
1-3 量み込みニューラルネットワークによる超音波で検出された乳腺腫瘍の良悪性鑑別診断	藤岡 友之 (東京医科歯科大学放射線診断科)
1-4 IVIMと非ガウス拡散MRI:悪性・良性乳房病変における診断・予後予測バイオマーカーとしての評価	飯間 麻美 (京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学))

12:00～12:10

弁当配布

12:10～13:10 ランチョンセミナー2「新製品紹介」

<座長> **村上 卓道** (神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線診断学分野)

LS2-1 Siemens Healthineersの

AI画像診断支援技術

【共催】 シーメンスヘルスケア株式会社

鈴木 貴士 (シーメンスヘルスケア株式会社 デジタルサービス事業部)

石川 信能 (シーメンスヘルスケア株式会社 デジタルサービス事業部)

LS2-2 Ultra GradientとAIが切り拓く

MRIの新たなステージ

【共催】 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

菅野 康貴 (キヤノンメディカルシステムズ株式会社 国内営業本部 MRI営業部)

LS2-3 AI(人工知能)を用いた画像診断支援

【共催】 株式会社日立製作所

河野 克典 (株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニット診断システム事業部)

LS2-4 富士フィルムのAI技術REiLiの開発最前線

【共催】 富士フィルムメディカル株式会社

成行 書史 (富士フィルム株式会社 R&D総本部 メディカルシステム事業部 ITソリューション部)

LS2-5 PSPの取り組むAI技術のご紹介

【共催】 PSP株式会社

吉見 祐介 (PSP株式会社 大阪支店)

西 正仁 (PSP株式会社 大阪支店)

13:10～13:20

弁当回収

13:20～13:50 日本発の論文紹介2

<座長> **宇都宮 大輔** (横浜市立大学医学研究科 放射線診断学)

**2-1 心不全患者における遅延造影CT:
MRIとの対比**

太田 靖利 (国立循環器病研究センター病院 放射線部)

**2-2 放射線化学療法中の左室心筋T1マッピング:
食道癌患者における経時的評価**

高木 英誠 (岩手医科大学放射線医学講座)

<座長> **山上 卓士** (高知大学医学部 放射線医学教室)

**2-3 肝腫瘍に対するTACEにおける三方活栓を
用いた至適エマルション作成方法の検討**

正田 哲也 (奈良県立医科大学 放射線・核医学科,IVRセンター)

**2-4 リピドールTACEにおけるガラス膜を
使用したポンピング乳化デバイスの開発**

田中 利洋 (奈良県立医科大学 放射線・核医学科,IVRセンター)

13:50～14:30 改定ガイドラインの紹介

<座長> **村山 貞之** (琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座)

G-01 画像診断ガイドラインの新しい方向性

片岡 正子 (京都大学医学部附属病院)

G-02 改訂された「取扱い規約」の紹介

高橋 哲 (愛仁会高槻病院イメージングリサーチセンター)

14:30～

閉会挨拶

—— 一般演題（ポスター）一覧 ——

P-01	超音波検査による美顔器(4種類)使用前後の血流変化と硬度変化	白川 崇子 (東京都立大学 大学院人間健康科学研究科)
P-02	Multishot-EPIを用いた非造影腎動脈MR angiographyの初期経験	中浦 猛 (熊本大学病院画像診断治療科)
P-03	乳癌症例の[F-18]FLT PET/CT所見:[F-18]FDGとの比較	森 美央 (東京医科歯科大学 放射線診断科)
P-04	乳癌の免疫病理学的所見推定におけるIodine mapの有用性	岡田 加奈子 (愛媛大学医学部附属病院 放射線科)
P-05	iQon Spectral CTで得られた電子密度画像と頭蓋内腫瘍の細胞密度の相関について	東 美菜子 (宮崎大学医学部放射線科)
P-06	希釈造影法を用いた冠動脈CTにおける冠動脈造影効果の再現性の検討	福山 直紀 (愛媛県立中央病院放射線科)
P-07	ダイナミック心筋 CT perfusionを用いた Myocardial blood volume の虚血性心疾患に対する有用性について	吉田 和樹 (愛媛大学大学院医学系研究科 放射線医学)
P-08	2管球CTによる心筋遅延造影画像: Dual-energy scan vs Single-energy Shuttle mode scan	粉川 嵩規 (三重大学医学部附属病院 放射線科)
P-09	多段注入希釈TBT法を用いた造影剤総用量24mlでの大動脈CTAの検討	醍醐 諒 (湘南鎌倉総合病院 放射線科)
P-10	256列MDCTを用いたTriple Rule OutにおけるDouble Dose Reduction	佐藤 英幸 (江戸川病院 放射線科)
P-11	「らせん穴あきファントム」を用いたアイソトロピック性能の評価	村上 大樹 (藤田医科大学大学院保健学研究科)
P-12	微小物体におけるCT値計測の問題点	山田 恭平 (藤田医科大学大学院保健学研究科)
P-13	SAMIの知見を非保有施設者がどう生かすか?	寺田 次郎 (無所属)